

2024 年 12 月吉日
サントリーパブリシティサービス株式会社

サントリーパブリシティサービス 茨木市「つどい、つながる文化の会議」プロジェクトに参画 ～市民と共に文化の芽を育む 新しい会議の形～

企業施設・文化施設の運営・コンサルティング業務を展開するサントリーパブリシティサービス株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役社長:千大輔、以下 SPS)は、大阪府・茨木市主催の市民参加型プロジェクト「つどい、つながる文化の会議～アートカフェをつくろう!～」の企画・運営を担当し、市民と共に地域文化の未来を共創する新たな取り組みを開始しました。本プロジェクトは茨木市文化振興ビジョン(第2期)※1の推進の一環として、参加者同士や文化芸術団体との新たな繋がりを創出し、文化的コモンズ※2の形成を目指しています。

※1)茨木市文化振興ビジョン(第2期)

※2)地域の共同体の誰もが自由に参加できる入会地のような文化的営みの総体



1. 「会議」からより開かれた場所へ

今回実施する『アートカフェ』は、「つどい、つながる文化の会議」が考える、人々と文化芸術をつなぐ環境としての「場」の名称です。「会議」という形式にとらわれず、市民が自由に集まり、意見を交わし、地域文化を深め合う場として、より開かれた空間を提供したいという思いを込め、『アートカフェ』と命名しました。本年度は全5回のプログラムを予定しており、市民が積極的に文化活動に参加し、新しいアイデアを生み出していくための場づくりを行います。

SPSはこの活動を通じて、市民が様々な人々と繋がり、コーディネーターとしての役割を担いながら、自分たちの手で地域文化を創造する力を育むサポートをします。

また、会場である「茨木市文化・子育て複合施設おにクル」は、すでに多彩な文化活動が行われており、茨木市の文化拠点として重要な役割を果たしています。この場を活かし、文化的コモンスの形成を促進すると共に、市民の多様な価値観を尊重しながら、より豊かなコミュニティ作りを進めていきます。

2. 第1回:「対話」のコツを知る、茨木市の未来を語る 実施

12月1日(日)に開催された初回のプログラムでは、アートマネジメントの専門家・藤野一夫教授(神戸大学名誉教授および芸術文化観光専門職大学副学長)を迎え、文化的コモンス形成の実際の事例を交えながら、市民主体の文化プロジェクトの意義や可能性、コーディネーターとして必要な資質について学びました。藤野教授は本プロジェクトについて、「今まで出会わなかった人がこの場をきっかけに出会い、交わりが外へ広がる。茨木市をクリエイティブな都市へと変える第一歩だと感じている。」と語り、今後の展開に大きな期待を寄せています。その後、参加者はワークショップを通じて「茨木市の未来」をテーマに自由に意見交換を行い、世代や背景を超えた新たな繋がりがや発見が生まれた第1回となりました。

参加者コメント

- ・グループワークでは、早速新たな繋がりを感じることができました。これからこの活動がどうなるのかワクワクします。
- ・ワークを経て、みなさんと一緒に気持ちをシェアしながら、少しずつこの活動を創りあげていければいいんだな、と安心しました。

3. 今後の展開と活動予定

本年度の『アートカフェ』では、以下の活動を実施します。さらに次年度以降も形を変え、継続して展開していく予定です。

スケジュール

※スケジュールは変動する可能性があります。

1回目

12月1日(日)16:00~18:00

「対話」のコツを知る、未来を語る

アートマネジメントを専門とし、市民主体の文化プロジェクトに携わる講師をお招きし、参加者の皆さんと一緒に茨木市の未来をざくばらんに語り合います。

講師：藤野一夫教授(芸術文化観光専門職大学)

2回目

12月14日(土)14:30~16:30

アートな取組みを視察、気づきを得る

市民活動の発表スペースである吹田市「すいたあと」へ公演の視察および運営者にお話を伺います。

JR吹田駅徒歩15分(現地会合・現地解散・交通費自費)

3回目

1月25日(土)14:00~16:00

どんな「場=アートカフェ」にしよう？

「アートでつながる場」づくりに必要な共通理念のアウトプット(名称、ロゴの作成、言語化、イラスト化など)をワークショップ形式で実施します。みんなで盛り上げていく最初の一步！

4回目

2月15日(土)14:00~16:00

絵本(コンセプトブック)を作る

3回目をもとに、絵本(コンセプトブック)のストーリーとイラストを作ります。また、5回目の「アートカフェ」実施に向けて役割分担をします。

5回目

3月8日(土)14:00~16:00

「アートカフェ」を知ってもらう

絵本(コンセプトブック)を使いながら、「アートカフェ」の存在を広く知ってもらう機会とします。コーヒーを片手にやりたいことや興味を持っていることについて、ふらっと立ち寄った人も巻き込みながらワクワクする企画を考えます。みんなで話し合い、当日やりたいことがあれば発表の場とするのもよし、ワークショップするのもよし！



SPS は、60 年以上にわたる施設運営のノウハウと地域共創の実績をもとに、この『アートカフェ』を通じて市民の創造性を引き出し、共に「文化が繋がる瞬間」を創出することで、茨木市のさらなる文化的発展に貢献してまいります。

サントリーパブリシティサービス株式会社について

SPS は、1963 年の創業以来、人と企業、人と文化、人と地域をつなぐ接点の場で、独自の価値を創造することに取り組んでまいりました。ブランド創出やステークホルダーとの関係強化につながる工場見学・企業展示・企業受付・インフォメーション・コールセンターなどの 30 を数える企業施設と人々の心豊かな生活・地域の活性化に貢献する音楽ホールや美術館など 50 箇所の文化施設の運営。また、その施設運営で培ったノウハウを元に、様々なターゲットに向けた「オリジナルイベント企画提案」、組織と人の成長を促す「研修企画・運営」、施設の価値創造・向上につながる「施設運営トータルプロデュース」業務を展開しています。

会社名 :サントリーパブリシティサービス株式会社

所在地 :東京都江東区豊洲 3-2-24 豊洲フォレシア 16 階

代表者 :代表取締役社長 千大輔

URL :<https://www.sps.sgn.ne.jp/>

登録・認可: 多様な働き方ができる企業として、2017 年に厚生労働省の「えるぼし」認定を獲得。この他にも、地方自治体が制定する、女性が活躍する企業に与えられる認証も複数受けています。働きやすい会社、仕事と介護、子育てが両立できる会社として多くの認証をいただいております。



【本リリース内容・取材に関する問い合わせ先】

サントリーパブリシティサービス株式会社 事業推進本部 広報:松本・藤井
TEL:090-9709-8816 FAX:03-6221-2017 E-mail:kouhou@sps.sgn.ne.jp